



情報管理

機密管理体制を強化し、信頼される企業風土を築きます。

情報セキュリティの目的

情報漏洩防止のための基本ルールとしてセキュリティポリシーを制定する事により全世界のジーテクト社員が、情報資産を守り抜く意識を高め、時代の変化に対応できる情報セキュリティ体制を構築しています。

情報セキュリティの基本方針

当社の情報資産を守る為に、下記内容を基本方針とする。

- 情報漏洩のリスクを理解して行動する。
- 全世界のジーテクト社員が、場所・利用技術に関係なく、同じセキュリティポリシーの下に情報管理・漏洩防止を行う。
- 情報漏洩事例などのリスク情報は全世界で共有し、且つセキュリティポリシーに反映し、ジーテクトでの漏洩防止、再発防止に役立てる。
- 新しい情報管理・処理に関係する仕組みを構築する際は、セキュリティポリシーの考え方を遵守する。
- 社会環境の変化に迅速に呼応し、先取りで対応を行っていく。
- セキュリティポリシーは常に見直しを行う。

情報セキュリティ教育

当社の事業を運営するに当たり、各取引先様や当社自身の機密情報あるいは、社員の個人情報等、外部に漏洩させてはいけな様々な情報が多く存在しております。基本的に情報漏洩等は、社員の機密管理に対する意識低下に起因する事が大きいと考えられており、この為、情報漏洩防止に向け社員に対し機密管理に対する教育を定期的実施しております。教育方法としては、セキュリティポリシーの主な内容をまとめた「情報管理10ヶ条」の読み合わせや、社内報での周知を実施しております。

<p>機密情報管理 啓発活動 No. 1 コーポレート・ガバナンス委員会より</p> <p>機密情報のデータ取扱いでは、データファイルへのパスワード設定の徹底をお願い致します。</p> <p>「パスワード そのひと手間が 身を守る」</p> <p>データ送信の際は、機密情報が含まれたファイルにパスワードをかける事もや常識となっています。会社を守るため、自分自身を守るために、機密ファイルには必ずパスワードをかけましょう。</p>	
<p>機密情報管理 啓発活動 No. 2 コーポレート・ガバナンス委員会より</p> <p>「それ何秘? ここでも忘れず 指差し呼称」</p> <p>機密情報には、その内容に応じて「S・A・M秘」の等級付けをし、各等級ごとに定められている取扱いをしましょう。</p>	
<p>機密情報管理 啓発活動 No. 3 コーポレート・ガバナンス委員会より</p> <p>「その撮影 きちんと許可を得ていますか?」</p> <p>機密エリアでの撮影には、そのエリアを管理する部門の許可が必要です。また、撮影時には所定の腕章の着用も必要です。スマートフォンでの撮影厳禁!</p>	
<p>機密情報管理 啓発活動 No. 4 コーポレート・ガバナンス委員会より</p> <p>「ここだけの 話で済まない 情報漏洩」</p> <p>他者に情報を提供することは、それだけで情報漏洩の大きなリスクとなります。会社の機密情報を社外者（取引先・家族・友人）はもちろんです。業務外の目的で同僚に話すことも避けましょう。</p>	
<p>機密情報管理 啓発活動 No. 5 コーポレート・ガバナンス委員会より</p> <p>「機密事項 伝える前に 深呼吸」</p> <p>業務を行う上で、機密情報を扱う場面も多いかもしれませんが社内外問わず「これは伝えるべきか否か」を常に意識して情報を取り扱しましょう。その一呼吸で情報漏洩が防げるかもしれません。</p>	

社内報「ジーテクトニュース」より